



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨコオ

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 横尾 健司

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-3916-3111

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,197	△7.1	310	△66.1	7	△98.8	△250	—
23年3月期第2四半期	14,210	15.1	917	100.2	617	179.2	484	426.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △667百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △187百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△12.52	—
23年3月期第2四半期	24.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,485	13,900	64.7
23年3月期	21,322	14,748	69.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,900百万円 23年3月期 14,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	1.4	1,050	△19.6	670	△29.8	250	△57.4	12.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	20,849,878 株	23年3月期	20,849,878 株
24年3月期2Q	844,539 株	23年3月期	844,431 株
24年3月期2Q	20,005,362 株	23年3月期2Q	20,005,701 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州諸国のソブリンリスクが欧米金融業界にも波及し、世界経済を強力に牽引してきた新興国、特に中国の経済成長にかげりが見え始め、経済全体の減速感が強まりつつあります。

わが国におきましては、サプライチェーンの回復・増産や復興需要などにより、東日本大震災直後に比べ景況感が改善しているものの、タイの大洪水によるサプライチェーンの混乱、外需減退の懸念、厳しい円高水準の継続などから、先行きは不透明さを増しております。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体製造・検査市場、携帯電話市場におきましては、新興国市場の拡大余地はいまだ大きく、有望である一方、欧州発の金融不安の影響で世界的に需要が減退する可能性が高まっております。

このような状況の中、当社グループは、東日本大震災後の急減から急ピッチで回復する車載通信機器事業の受注への対応強化や、回路検査用コネクタ事業・ファインコネクタ事業の海外売上拡大に注力いたしました。また、7月には、新興国市場における車載通信機器事業の拡大を主な目的とするベトナム生産子会社を設立し、2012年8月の本格稼働に向けて着工いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、無線通信機器セグメントが増収となったものの、東日本大震災の影響による車載通信機器セグメントの大幅な減収などにより、131億9千7百万円（前年同期比△7.1%）と、前年同期比で減収となりました。営業損益につきましては、車載通信機器セグメントでの大幅減収に伴う減益、製品構成変化による利益率低下、中国における労務費増加などにより、3億1千万円の利益（前年同期比△66.1%）と、前年同期比で減益となりました。経常損益につきましては、さらなる円高進行に伴う為替差損の拡大などにより、7百万円の利益（前年同期比△98.8%）と、前年同期比で大幅な減益となりました。四半期純損益につきましては、株価の大幅下落に伴う投資有価証券評価損1億7千9百万円、固定資産除却損4千3百万円など特別損失2億4千7百万円を計上した結果、2億5千万円の損失（前年同期比7億3千5百万円の減少）と、業績予想値を大幅に下回りました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<車載通信機器>

当セグメントの主要市場である自動車市場は、中国・インドなど新興国市場の成長ペースが鈍化しつつあるものの、着実に拡大を続けております。日本市場におきましては、日系自動車メーカーが東日本大震災の影響による大幅減産から急回復しましたが、タイの大洪水の影響で部材調達や生産が再び混乱・停滞し、下期の増産計画の見直しを迫られる事態となっております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるマイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品の販売は、第1四半期での急減後、第2四半期に急回復しましたが、前年同期の8割水準にとどまりました。一方、国内向けフィルムアンテナの販売は、地デジ化対応需要により、例年より高い水準で推移いたしましたが、他製品の販売減を補うには至りませんでした。

この結果、当セグメントの売上高は72億円（前年同期比△16.5%）と、前年同期比で減収となりました。セグメント損益につきましては、2億1千8百万円の損失（前年同期比5億2千1百万円の減少）となりました。

<回路検査用コネクタ>

当セグメントの主要市場である半導体製造・検査市場は、スマートフォン、家電、自動車等の半導体需要急増を背景に回復基調にありましたが、パソコン需要の伸び悩みによる在庫過剰からDRAM価格が下落し、半導体メーカーやファウンドリー（半導体製造受託会社）の設備投資が縮小しつつあります。

このような状況の中、当社グループは、海外大手顧客を中心に積極的な拡販活動を展開いたしました。東日本大震災の影響による主要顧客の減産や生産調整などにより、主力製品であるIC検査用BGAソケットをはじめ各製品とも軒並み前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は25億1千5百万円（前年同期比△8.3%）と、前年同期比で減収となりました。セグメント損益につきましては、1億7千5百万円の利益（前年同期比△61.6%）となりました。

<無線通信機器>

当セグメントの主要市場である携帯電話市場は、BRICsに加えインドネシア、フィリピン等アセアン地域においても堅調な成長が見込まれるほか、スマートフォンの販売が急ピッチで拡大しており、さらに成長を続けるものと見られております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、一部海外大手顧客の販売不振などのマイナス要素があったものの、スマートフォンやPOS端末機等での採

用拡大が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

携帯電話機向けアンテナ事業につきましては、海外大手顧客の主力機種への採用によりセルラーメイン内蔵アンテナの受注が大きく伸長し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

当分野に含めておりますメディカル・デバイス事業につきましては、ガイドワイヤ用コイル、マーカリング等主力製品の堅調な販売増加に加え、ガイドワイヤユニット・カテーテルユニットの組立加工の受注増加により、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は34億8千万円（前年同期比+22.5%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、2億7千7百万円の利益（前年同期比+5.1%）となりました。

（事業セグメント別連結売上高）

（単位：百万円、%）

	前年度上期 平成22年4月 ～平成22年9月	前年度下期 平成22年10月 ～平成23年3月	当第2四半期連結累計期間 平成23年4月 ～平成23年9月		
	売上高	売上高	売上高	前年同期比	前半期比
車載通信機器	8,625	7,681	7,200	△16.5	△6.3
回路検査用コネクタ	2,743	2,548	2,515	△8.3	△1.3
無線通信機器	2,841	2,688	3,480	+22.5	+29.5
計	14,210	12,918	13,197	△7.1	+2.2

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権増加9億7千9百万円、たな卸資産の増加1億5千9百万円などの増加要因がありましたが、現金及び預金減少8億6千9百万円、時価評価による投資有価証券減少2億3千6百万円などの減少要因により、214億8千5百万円（前連結会計年度末比1億6千3百万円の増加）となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務増加2億5千6百万円、短期借入金増加7億円などの増加要因により、75億8千4百万円（前連結会計年度末比10億1千1百万円の増加）となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純損失2億5千万円の計上、その他有価証券評価差額金3千3百万円減少、為替換算調整勘定3億8千3百万円減少、前連結会計年度に係る期末配当金支払1億8千万円などの減少要因により、139億円（前連結会計年度末比8億4千7百万円の減少）となりました。

（自己資本比率）

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は64.7%（前連結会計年度末比△4.5%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、34億6千5百万円（前年同期比14億3千3百万円の減少）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費5億6千万円、仕入債務増加3億3千3百万円などの増加要因がありましたが、税金等調整前四半期純損失2億3千9百万円、売上債権増加12億1千4百万円、たな卸資産増加2億8千7百万円などの減少要因により、7億3千2百万円の支出（前年同期比16億7百万円の収入減少）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3億3千9百万円、無形固定資産の取得による支出8千万円などにより、4億3千5百万円の支出（前年同期比1億9千2百万円の支出増加）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入7億円の増加要因がありましたが、リース債務の返済による支出1億2千5百万円、配当金支払1億8千万円などの減少要因により、3億9千3百万円の収入（前年同期比6億7千5百万円の支出減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済全体の減速傾向に伴い当社主要市場における需要減退が懸念されるほか、歴史的な円高水準の定着や、タイの大洪水により当社主要顧客である自動車メーカーなどに大きな影響が出ていることなど、当社グループの経営環境は先行きがさらに不透明になっております。

このような状況並びに当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、下記のとおり修正させていただきます。

詳細につきましては、本日（平成23年11月11日）付公表の「営業外費用及び特別損失の発生、平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(平成24年3月期通期 連結業績予想)

(単位：百万円、%)

	前回予想 (8月10日公表)	修正予想 (11月11日公表)	増 減	増減率
売 上 高	27,500	27,500	—	—
営 業 利 益	1,350	1,050	△300	△22.2
経 常 利 益	1,220	670	△550	△45.1
当 期 純 利 益	720	250	△470	△65.3

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,335,151	3,465,664
受取手形及び売掛金	5,590,625	6,569,649
商品及び製品	1,210,445	1,313,336
仕掛品	454,131	410,461
原材料及び貯蔵品	1,087,617	1,187,872
その他	812,875	920,523
貸倒引当金	△3,537	△2,124
流動資産合計	13,487,309	13,865,383
固定資産		
有形固定資産	5,161,940	4,971,508
無形固定資産		
その他	534,347	559,643
無形固定資産合計	534,347	559,643
投資その他の資産	2,138,797	2,089,093
固定資産合計	7,835,085	7,620,245
資産合計	21,322,394	21,485,628
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,076,961	3,333,957
短期借入金	—	700,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	600,000
未払法人税等	187,881	59,771
賞与引当金	309,184	352,765
その他	1,152,383	1,324,378
流動負債合計	5,126,411	6,370,873
固定負債		
長期借入金	200,000	—
退職給付引当金	303,685	311,666
その他	943,467	902,192
固定負債合計	1,447,153	1,213,858
負債合計	6,573,565	7,584,732

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	8,607,389	8,176,820
自己株式	△991,041	△991,103
株主資本合計	15,594,546	15,163,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,433	63,822
為替換算調整勘定	△943,150	△1,326,841
その他の包括利益累計額合計	△845,716	△1,263,019
純資産合計	14,748,829	13,900,895
負債純資産合計	21,322,394	21,485,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	14,210,915	13,197,132
売上原価	10,915,504	10,371,755
売上総利益	3,295,411	2,825,376
販売費及び一般管理費	2,377,799	2,514,693
営業利益	917,611	310,683
営業外収益		
受取利息	6,828	4,250
受取配当金	22,070	24,370
その他	16,499	24,320
営業外収益合計	45,398	52,941
営業外費用		
支払利息	29,201	21,593
為替差損	302,646	312,314
その他	13,756	22,050
営業外費用合計	345,604	355,958
経常利益	617,405	7,666
特別利益		
固定資産売却益	491	639
投資有価証券割当益	14,678	—
貸倒引当金戻入額	2,256	—
保険契約転換差益	5,054	—
特別利益合計	22,480	639
特別損失		
固定資産売却損	6,782	13
固定資産除却損	23,072	43,633
投資有価証券評価損	46	179,651
減損損失	5,000	—
その他	—	24,569
特別損失合計	34,900	247,867
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	604,985	△239,560
法人税、住民税及び事業税	236,673	57,967
法人税等調整額	△116,686	△47,007
法人税等合計	119,987	10,959
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	484,998	△250,520
四半期純利益又は四半期純損失(△)	484,998	△250,520

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	484,998	△250,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△219,872	△33,610
為替換算調整勘定	△452,807	△383,691
その他の包括利益合計	△672,679	△417,302
四半期包括利益	△187,680	△667,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△187,680	△667,822
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	604,985	△239,560
減価償却費	630,062	560,554
減損損失	5,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	362	△918
賞与引当金の増減額(△は減少)	47,250	46,347
退職給付引当金の増減額(△は減少)	36,579	7,980
受取利息及び受取配当金	△28,898	△28,621
保険契約転換差益	△5,054	—
支払利息	29,201	21,593
為替差損益(△は益)	270,441	99,881
固定資産売却損益(△は益)	6,290	△626
固定資産除却損	23,072	43,633
投資有価証券評価損益(△は益)	46	179,651
投資有価証券割当益	△14,678	—
売上債権の増減額(△は増加)	△751,570	△1,214,385
たな卸資産の増減額(△は増加)	△305,470	△287,177
仕入債務の増減額(△は減少)	484,376	333,581
その他	△66,389	△84,048
小計	965,607	△562,114
利息及び配当金の受取額	28,906	28,621
利息の支払額	△29,160	△21,328
法人税等の支払額	△89,579	△177,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	875,774	△732,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,740	—
有形固定資産の取得による支出	△208,682	△339,547
有形固定資産の売却による収入	7,108	1,452
無形固定資産の取得による支出	△6,403	△80,763
その他	△11,555	△16,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,272	△435,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	700,000
リース債務の返済による支出	△101,756	△125,693
配当金の支払額	△179,402	△180,348
その他	△45	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281,205	393,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	△301,687	△96,219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,608	△869,487
現金及び現金同等物の期首残高	4,848,341	4,335,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,898,950	3,465,664

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,625,783	2,743,378	2,841,753	14,210,915	—	14,210,915
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	115,888	—	115,888	△115,888	—
計	8,625,783	2,859,266	2,841,753	14,326,803	△115,888	14,210,915
セグメント利益	302,345	456,321	264,429	1,023,096	△105,485	917,611

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,023,096
たな卸資産未実現利益調整額	△37,490
たな卸資産評価減調整額	△20,638
その他調整額	△47,355
四半期連結損益計算書の営業利益	917,611

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,200,989	2,515,605	3,480,537	13,197,132	—	13,197,132
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	78,059	—	78,059	△78,059	—
計	7,200,989	2,593,664	3,480,537	13,275,191	△78,059	13,197,132
セグメント利益又は損失 (△)	△218,998	175,233	277,801	234,037	76,646	310,683

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	234,037
たな卸資産未実現利益調整額	74,925
たな卸資産評価減調整額	14,556
その他調整額	△12,836
四半期連結損益計算書の営業利益	310,683

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。